

施設園芸における 台風・強風対策マニュアルについて

平成25年10月21日
営農支援課

このことについては、静岡県のホームページに、施設園芸の台風・強風対策が掲載されています。

対策について詳細に記載されていますので、参考として紹介します。

静岡県のホームページ

「施設園芸における台風・強風対策マニュアル」アドレス

↓

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-310/kisyou/taifuutaisaku20120723.html>

なお、本県の「ハウス等施設の台風対策」は別添のとおりですので、参考にしてください。

別添 「ハウス等施設の台風対策」

営農支援課

【事前対策】

① 防風ネットの設置

防風ネットはあらゆる強風対策の基本であり、必ず設置する。

② 被覆資材の補強

被覆資材がはがれる被害は、屋根の両端の破れが引き金となる。
図1の■部分をネットで保護する。

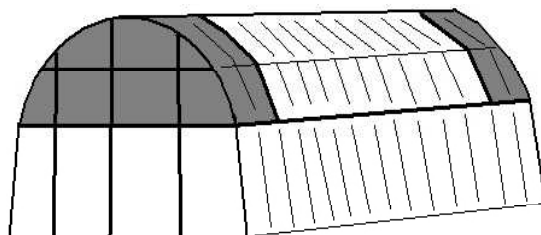


図1 被覆資材の補強

③ ハウス本体の補強

ハウス本体にシワ・タルミがあると、耐風性は大幅に低下する。必ず確認を行なう。出入り口はしっかりと閉じて固定する。ハウスバンドの本数を増やすとともに、締め直し補強する。ハウスバンドを止める側のヨリ鋼線や支柱を支えるラセン杭も補強する。硬質ハウスでは天窓の補強も重要となる。ロープ等でしっかりと固定する。

④ 排水対策の徹底

ハウス内に雨水が流入しないように、周囲の排水溝の整備を徹底する。また、ハウスが連棟の場合、谷水を「とい」などで排水路まで導き、ハウス内に入らないようにする。

⑤ 自動開閉装置対策

ハウスを締め切ったあと、温度センサーによって換気部が動き出さないようにする。

⑥ 燃料タンク対策

台風により、広範囲が冠水しているときに、燃料タンクが倒れたり、配管の破損等により燃料油が流出すると、農作物だけでなく施設周辺にも被害を及ぼすので、タンクの固定ボルトの増し締め、配管付近の片付けを行う。

⑦ 換気扇の利用

換気扇がある場合には、換気扇によってハウス内を低圧状態に保つことで、ハウスの揺れを防止する。また、停電に備え非常用電源を準備する。

⑧ 倒壊の恐れがある場合

ハウス倒壊の危険がある場合には、押さえバンドを切ってビニールを除去し、ハウスの倒壊を防ぐ。
また、雨中の作業では、飛来物に注意し、転落事故にも気を付ける。

【事後対策】

通過後一気に晴れてしまうことが多いので、換気対策を優先し、換気部の補強を解き、自動開閉装置の設定を元に戻す。
ビニールが破損した場合には、速やかに補修する。
滞水した場合には、すみやかに排水を行なう。